

湖一小だより



平成26(2014)年11月12日

東近江市立湖東第一小学校

やる気もち やさしく たくましい子ども

No.14

学校一日公開日 P T A 講演会

ご参観いただき
ありがとうございました

11月6日(木)の「学校一日公開日」、「P T A 講演会」、また「3年生親子活動」に、ご参観いただきありがとうございました。

「学校一日公開日」今年は、例年のように参観授業の時間を設けず、どの時間でも見ていただけるようにしました。朝の会からの参観や2時間、3時間と長い時間の参観、マラソントイムや給食の準備など、普段の子どもたちの学校生活の様子もご覧いただけたのではないかと思います。

また、午後からの「P T A 講演会」にも多数ご参加いただきありがとうございました。「力いっぱい生きる」という題で、助産師の齊藤 智孝先生に講演していただきました。子どもたちも一緒に話を聞きました。「かけがえのない命の大切さ」「命の繋がり」や「一人ひとりにはいいところがあるんだよ」と、お話だけでなく体験や絵本の読み聞かせなどを通して、わかりやすく、力強く語っていただきました。考えさせられ、元気のでの講演会でした。



○ 赤ちゃんがすごくがんばって、おなかから出てくるなんて知らなかったです。私のイメージでは、「お母さんばかりがんばる」って思っていたけど、こういうところでも「お母さんと一緒にがんばってきたんだなあ」と思いました。

お母さんからの手紙はすごくうれしかったです。「生まれてきてくれてありがとう」という言葉が一番心に残りました。お母さんがわたしを大切に思ってくれると思ったら、すごくうれしかったです。家に帰ってお母さんと話していたら「誰かが特別じゃないよ。みんな平等に愛しているよ。」と言われ、すごく心にのこりうれしかったです。

これからは自分を大切にしたいです。

(6年生)

次は、保護者の方の感想です。

☆ 気楽に聞ける講演会で、リラックスしながら楽しく聞くことができました。聞いていて「ハッ！」と思わされることばかりで、「自分の行動、発言、改めないとな。」と思われました。ちょうど子どもが、「反抗期の始まりか??」と思っていたときで「何で?!」と日々思っていたけれど、自分の言動を改めないで「そりゃ、そうなるわー。」と反省させられました。いきなり全てを変えていくことは、自分も難しいかもしれないけれど、とりあえず「早く! 早く!」を「一緒に」へ実践していこうと思います。

帰って子どもたちと話したときに、「手紙を読んだら、ポロリと涙がでた。うれしかった。」と言ってもらえて、こちらもうれしくなりました。

☆ 最初から最後まで、とてもよいお話が聞けてよかったです。赤ちゃんが一生懸命生まれてくることを話されていたときに、自分の出産のことを思い出しました。赤ちゃんに会いたい気持ちで、私も、赤ちゃんも、そして家族みんなでがんばって出産したんだあって。「元気に生まれてきてくれてありがとう。」と、また思えたお話でした。

後半の保護者だけのお話は、自分のことを言われているかのようでした。反省…。これからは『一緒にしよう』を大切に、子どもたちと楽しくできたらいいなと思いました。家族、周りのお友だちを大切に、お互い協力、支えあいながら、これからは大事にしたいと思います。

モンゴルの白い馬

10月30日(木)

劇団風の子



体育館のフロアに舞台が設営され、いつもとは違った雰囲気。入場も劇団の方が迎えてくださり、学年の指定席へ。「モンゴルの白い馬」は、以前の教科書では「スーホーの白い馬」として載っていた教材です。



白い馬やオオカミは、大道具で手で操作されるのですが、お話に入り込んでいると本物のように思われてきます。間近で見た演劇のおもしろさに浸れた一時でした。

資源回収 ありがとうございます

10月18日(土)には、早朝よりPTA資源回収をしていただきありがとうございました。

右のように、多くの資源が回収でき、収益をあげることができました。PTA特別会計に収入として入れさせていただきました。その中から、上述の演劇の観賞費用も出させていただきます。その他にも、子どもたちのために有効に活用させていただきます。

PTAの役員の皆様を始め保護者の皆様、資源を出していただきました地域の皆様、ご協力ありがとうございました。

ダンボール	5,850kg	29,250円
新聞	19,590kg	97,950円
雑誌	8,310kg	24,930円
アルミ缶	170kg	10,200円
合計		162,330円

MIOびわこ滋賀 夢事業

11月10日(月)

努力できる人に

やり続けること

腑に落ちる



プロサッカーチーム「MIOびわこ滋賀」から、3名の方に来ていただき、5年生、6年生の子どもたちに、サッカーの指導と「夢」を持ち続けることの大切さについての話をさせていただきました。

どちらの学年も前半はサッカーの指導、後半はお話という構成でした。前半では、しっぽ取りゲームをアレンジした身体慣らしの運動の後、男女に分かれて同じコートでゲームを行いました。正式なルールではなくサッカーを楽しもうという感じで、子どもたちは、一生懸命にボールを追っていました。



教室での話は、話をしてくださる方が、それぞれ違っていたので、内容も同じではありませんでしたが、「夢」を持ち続けることの大切さを教えてくださいました。冒頭の3つは、特に印象に残った言葉です。5年生では、「努力できる人になってほしい」「やり続けることが大切だ」と6年生では、「頭で考えたことが、正しい姿勢をしていると身体の中を通して内蔵まで落ちてくる」それが「腑に落ちる」と言って、自分のものになることだと伝えてくださいました。